LTP
Little Tern Project
Vol. 37
2018.10.1 発行
こあじさし
koajisashi
NPO法人
リトルターン・プロジェクト通信

Contents

◆2018 年コアジサシ営巣調査のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・1
◆便り　多摩川（二子玉川周辺）のコアジサシ・・・・・・・2
◆営巣地の生き物たち　第５回　キョウジョシギ・・・・・・・　2
◆コアジサシをめぐる冒険　第１４回・・・・・・・・・・・・　3
◆2018・LTP 講演会のお知らせ・表紙の言葉・・・・・・・・・・4

# チョウゲンボウの猛攻に幼鳥が 3 羽に!?

## 2018 年コアジサシ営巣調査のまとめ

今年は 4/13 にコアジサシの飛来を確認（4 羽）しました。その後、5/4 に成鳥 50 羽、27 巣を確認しましたが、数日の内にカラスに卵を捕食されてしまいました。一時はこのまま営巣しないのでは？と思われましたが、何とか成鳥数も盛り返し、5/19 には 80 羽、18 巣となりました。その後、順調に成鳥数、巣数は増加し、6/16 に成鳥数 280 羽、営巣数 554 巣、6/30 にヒナ 104 羽を記録しました。

しかし、ヒナの数が全然増えません。昨年同様、今年もコアジサシは密集して営巣していましたが（10m 四方に最大 20 巣）、ヒナがふ化し始めると、最大 3 羽のチョウゲンボウがヒナを捕食しに現れ、生まれてくるヒナが次々と捕食されていったようです。

せっかく育てたヒナが捕食されると、成鳥も今年の繁殖活動をやめ、森ヶ崎を去ってしまったようで、7 月に入ると急激に個体数は減少してしまい、7/22 には 0 羽になってしまいました（図 1、表 1）。

結果、2018 年の総営巣数は 951 巣（過去 6 位）、推定ふ化数は約 1000 羽（過去 6 位）となりました（図 2）。

チョウゲンボウによる捕食の影響で、推定ふ化数 1000 羽に対し、今年無事に森ヶ崎から巣立っていった幼鳥はなんと 3 羽程度かなと推定しています。ふ化数は多かったのですが、森ヶ崎から旅立った幼鳥はわずかでした。

最後に、調査にご協力いただいた皆さま、猛暑の中、本当にありがとうございました。また来年もよろしくお願いいたします。

調査研究部会リーダー　奴賀俊光

2018 年・親鳥とヒナ

| 日付 | 成鳥数（羽） | 営巣数（巣） | ヒナ数（羽） |
|---|---|---|---|
| 4/13 | 4 | | |
| 4/15 | 6 | | |
| 4/21 | 15 | | |
| 4/23 | 10 | 0 | |
| 4/29 | 12 | 0 | |
| 5/4 | 50 | 27 | |
| 5/13 | 6 | | |
| 5/19 | 80 | 18 | |
| 5/27 | 250 | 318 | |
| 6/2 | 250 | 452 | |
| 6/10 | 250 | | |
| 6/16 | 280 | 554 | 20 |
| 6/24 | 250 | 490 | 48 |
| 6/30 | 250 | 414 | 104 |
| 7/8 | 200 | 290 | 69 |
| 7/14 | 50 | 60 | 13 |
| 7/22 | 0 | 0 | 0 |

表 1-2018 年営巣状況

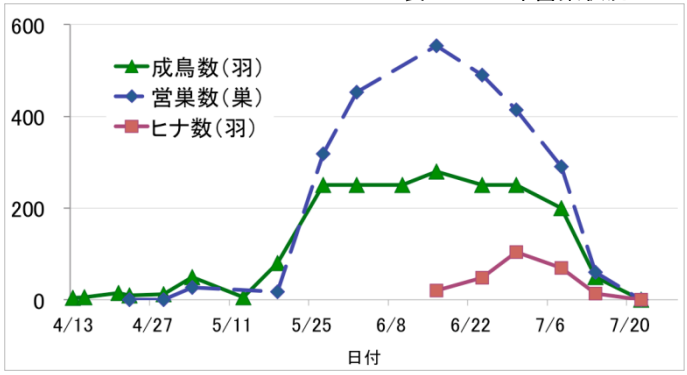


図 1-2018 年営巣状況

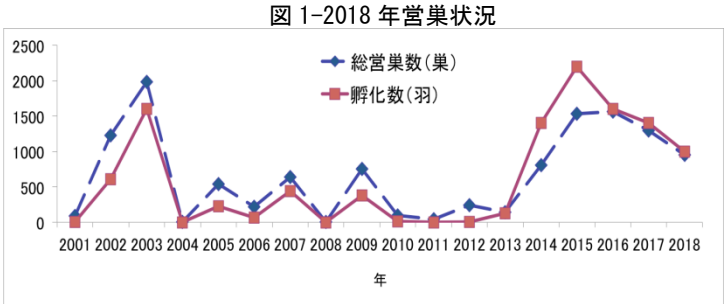


図 2-2001 年～2018 年までの経年変化

便り

## 多摩川（二子玉川周辺）のコアジサシ

世田谷トラストまちづくり 野鳥ボランティア　澤村信之

今や夏の風物詩となった「キリッ キリッ キリッ」という高い鳴き声、優雅に飛姿それに可愛いヒナたちに出逢いたく、今年も 6 月に開催された森ヶ崎屋上営巣地の観察会に仲間と参加し、多数のコアジサシと再会することができた。

私たちのフィールドの多摩川（二子玉川周辺）にある玉砂利中州では、2001 年に 40 年振りにコアジサシの繁殖が見られたのを機に、2002 年には国交省に中州整備をお願いしたこともあり、2007 年に最多成鳥数 123 羽、84 巣を記録する一大コロニーが形成された。

二子玉川下流の中州（2018 年 8 月）

その後、大雨増水に伴う卵や雛の流失、度重なるカラス・チョウゲンボウなどによる捕食、さらに草木の侵食による砂礫地の減少のため、これらの中州はコアジサシにとって必ずしも営巣に適した環境でなくなり、残念ながら 2013 年以降コアジサシは繁殖を放棄した。

この 5 年間、成鳥は毎年 10～20 羽ほど観察されているものの、繁殖は確認されなかったが、2018 年 6 月末、第三京浜道傍の中州で 1 巣の繁殖が確認され、7 月初めに雛 1 羽が観察され（廣田行雄氏情報）、来年以降に一縷の望みがつながった。

一方、上流側にある二ヶ領宿河原堰周辺でのコアジサシは、4 月に 12 羽程が飛来、その後約 30 羽まで増え、求愛給餌も見られたが、堰の下流部の中州が殆ど消失し、釣り人や水遊びなど人の出入りもあり、営巣は確認できなかったようである。

多摩川の二子橋と第三京浜道の間の高水敷には、「この中州は絶滅の恐れのあるコアジサシの繁殖地ですので、立ち入ったり犬を放したりしないで下さい」との私たちが以前作った立て看板 2 本が、今も残っている。来年こそはこの注意書きが守られ、コアジサシの繁殖が復活することを期待したい。

## 営巣地の生き物たち　第５回

## キョウジョシギ（京女鷸）

文・写真　　大塚 豊
ＬＴＰ理事・日本野鳥の会東京幹事

キョウジョシギは春秋の渡りの途中に日本各地の海岸へ立ち寄る旅鳥です。シベリアなどの繁殖地へ渡る 4 月下旬～5 月中旬頃、あるいは東南アジア・オーストラリアなどの越冬地へ渡る 8 月中旬～9 月下旬頃に、森ヶ崎営巣地で時々見られます。

干潮時に森ヶ崎の鼻干潟や埋立地の護岸で採餌して渡りのエネルギーを補給し、満潮時には森ヶ崎営巣地でのんびりと休息します。

“京女鷸”という和名の由来は、白・黒・橙の派手な色合いの着物をまとった京都の女性に例えたものです。しかし、狂女鷸とか強女鷸に書き替えられてしまうこともあるとか‥。英名の”Ruddy Turnstone”は、直訳すれば”赤い羽色の石ころ返し“となります。水際の小石などを嘴でひっくり返して、その下に潜む甲殻類や昆虫類など小動物を捕食する動作から、この名がついたものです。

私たちリトルターン・プロジェクトにとっては、退っ引きならないキョウジョシギの採餌行動が明らかになっています。奴賀俊光さんによると、森ヶ崎や九十九里浜の営巣地で、キョウジョシギがコアジサシの卵を突いて食べるのが観察されているとのことです。

コアジサシの営巣とキョウジョシギの渡来が重なるのは 5 月前半頃の短期間だけで、卵喰いは稀なことなので、今のところ大きな被害はないようです。しかし、もしも多数のキョウジョシギたちが本格的に卵を食べるようになったとしたら、とても恐ろしいことです。どうか“恐女鷸”にならないようにと祈りましょう。

# 連載　コアジサシをめぐる冒険

## —第 14 回 ペンキ卵によるカラスの忌避—　早川　雅晴

NPO 法人リトルターン・プロジェクト副代表・水鳥研究会代表・植草学園大学准教授

### 綺麗好きなカラス

電気卵の失敗の後に考えたのが「ペンキ卵」です。カラスは綺麗好きなので、体の一部が汚れることを嫌います。そこで、コアジサシの卵に似ているウズラ卵の中身を白いペンキに入れ替えた擬卵（ペンキ卵）を捕食させ、クチバシが白く汚れることで（図 1・2）、食べない方がよいことを学習させようとしました。卵の中に入れるペンキは安全性の高い種類を選びました。

図 1．ペンキ卵をつつき、クチバシの先端が白くなったカラス

図 2．カラスにつつかれたペンキ卵

### クチバシを白く汚す

予備実験として捕獲したハシブトガラスに週 1 回ペンキ卵を与え、残り 6 日はパンや肉等を与えました。1 週目はペンキ卵にすぐ反応してし、食べられないと分かってからも何回も卵をつついていました。しかし、1 週間後は警戒するようになり、戸惑いながらクチバシでつつくようになりました。電気卵の時はつつき壊されて擬卵であることを見破られてしまいましたが、ペンキ卵の場合はつつかれることでクチバシを白く汚し目的を達成することができます。2 週間後はさらに警戒するようになり、3 週間後には実験を行った 6 個体すべてがペンキ卵に反応しないようになりました（図 3）。

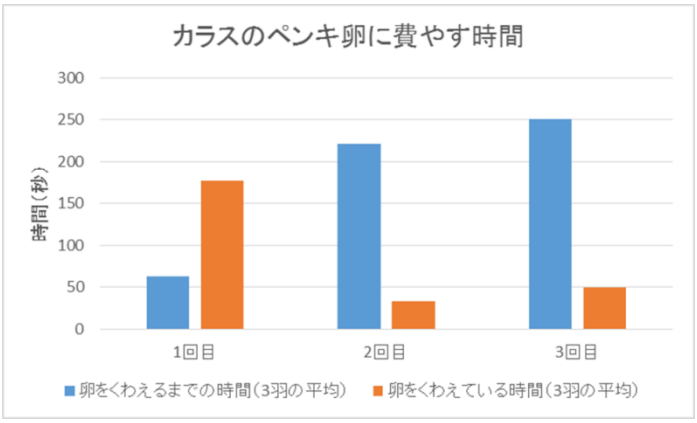


図 3．カラスがペンキ卵に費やす時間の変化

### 野外での実験

この忌避学習の成功を受けて、次に屋外（森ヶ崎水再生センター屋上と千葉市美浜区検見川浜）でコアジサシの繁殖期前に同様の実験を行いました。その結果、予備実験と同様に 3 週間目には学習が定着し、野外でもペンキ卵が全く捕食されなくなりました。これで上手くいくと思ったのですが、その後コアジサシが産卵すると、コアジサシの卵は捕食されてしまいました。

### 卵の分析結果から深まる謎

ペンキ卵に使用したウズラの卵とコアジサシの卵は、サイズ・模様がよく似ている一方で、それぞれバリエーションもあるため、カラスが卵を捕食する時に瞬時に識別することは難しいと思われます。しかし、もし両種の卵表面の紫外線の反射率が異なるとすると、カラスが容易に識別できてしまう可能性があります。そこで、東大総合研究博物館の松原始さんと山階鳥研の山崎剛史さんに卵の紫外線写真を撮ってもらい比較したところ、差がないことが分かりました（図 4）。従って、カラスはコアジサシの抱卵行動の有無を食べられるか否かの判断基準にしている可能性が考えられます。現在この可能性について北村代表のゼミの学生が調査中です。研究結果を楽しみに待ちたいと思います。

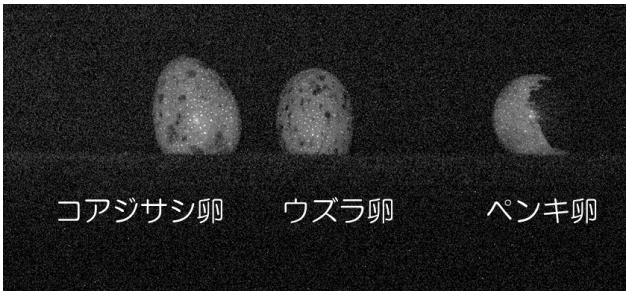


図 4．コアジサシ卵とウズラ卵の紫外線写真

## お知らせ　2018 年度 NPO 法人リトルターン・プロジェクト「講演会」

■日時：12 月 8 日（土）14：00～16：30
■会場：大田区民ホール・アプリコ：地下展示室（JR 蒲田駅東口徒歩３分）
■内容：今シーズンの営巣結果報告など。講演：蓮尾純子「新浜の話」（仮題）

**蓮尾純子**（はすお　すみこ）　1948 年生
東京農工大学林学科卒　1964 年より水鳥の渡来地の新浜（しんはま）；行徳・浦安一帯に通い、1967 年 「新浜を守る会」を結成し、保護運動を行う。1975 年 12 月より夫嘉彪（よしたけ）氏とともに行徳野鳥観察舎の住込みの管理員となる。2017 年のリタイア後はボランティアとして毎日の鳥記録のデータ整理等にかかわる。
＜著書＞　新浜だより（明光企画）、野鳥観察日記（筑摩書房）、水鳥が戻ってきた（ＮＴＴ出版）、水鳥たちの干潟（フレーベル館）
＜訳書＞（共訳）鳥学の世界へようこそ（デヴィッド・ラック著平河出版社）、湖のそばで暮らす（マーン・ウィルキンス著筑摩書房）
＜ウェブサイト＞鳥と人と―イギリスから世界へ（ハーバート・アクセル著）小説家になろう（投稿型小説サイト）

54 年間にわたる新浜などの自然保護運動のかたわら、多くの著書も出版された。日本の環境保全運動の草分け的存在。森ヶ崎水再生センター施設屋上での営巣を発見した 2001 年 6 月 10 日、私がその不思議な出来事を現場から最初に連絡したのが蓮尾さん。「おそらく日本で初めての出来事！！」と。
その後、何度か営巣地を訪ねてくださり、コアジサシのヒナを捕食していた黒猫を一緒にはさみうちで捕まえたが、逃げられた。そのシーズンはそれ以後、猫の姿はなかった～　「1995 年に「鳥と人と」の著者のアクセルさんにお会いしにイギリスに行った時、ダンジネスに造成された原子力発電所の屋上でコアジサシが繁殖したらしい、というお話を聞きました。それからほどなく森ヶ崎の繁殖が見つかった時のうれしさは忘れられません。」蓮尾談。　増田記

※参加費無料、直接会場におこしください（先着 200 名）
主催：ＮＰＯ法人 リトルターン・プロジェクト　共催：大田区
協力：東京都下水道局 森ヶ崎水再生センター・フィールドアシスタントネットワーク
問合先：大田区環境清掃部 環境対策課 環境推進担当　☎03-5744-1365

### 表紙の言葉　～ヒナを捕獲するチョウゲンボウ～

今年沖縄、泡瀬の埋立地では 400 近くあったコアジサシの巣が 1 週間ですべて無くなってしまいました。
センサーカメラをセットし犯人はネズミであることが分かりましたが、その映像の中でコアジサシが夜間抱卵していないことが気になりました。
これまで千葉で観察してきた経験からは夜も抱卵していると思っていましたので、真夜中まで抱卵しているか否かを確かめるために、森ヶ崎水再生センターにセンサーカメラを置かせてもらいました。
結果は、夜も抱卵していて、沖縄で営巣するコアジサシとは繁殖生態が異なることが分かりました。その際に偶然撮影できたのが、この 1 枚です。センサーカメラにはコアジサシ以外、映ってもらいたくありませんね。　早川　雅晴

### リトルターン・プロジェクト活動概要

2001 年に絶滅危惧Ⅱ類の野鳥コアジサシの屋上営巣を大田区昭和島にある森ヶ崎水再生センター施設屋上で発見した私たちは、東京都下水道局や大田区、そしてたくさんのボランティアの協力を得て、世界初の屋上営巣地を整備しました。コアジサシの生息域である、砂浜や玉砂利河原、そして干潟などの水辺環境が失われつつある現在、コアジサシをキーワードにそのような水辺環境の保全を視野に入れ、自然と人間の共生を目指して活動しています。
**（この取組は東京都下水道局と大田区の協力を得ています。）**

**会員になって一緒にコアジサシを守りましょう！**
NPO法人リトルターン・プロジェクトでは、随時会員を募集しています。わたしたちと一緒に絶滅の恐れのある野鳥“コアジサシ”を守りませんか？
**◇入会届のダウンロード先◇**
http://www.littletern.net/nyukai.html
**◇入会届の送付先◇**
〒143-0015 東京都大田区大森西 5-10-22 増田方
NPO 法人リトルターン・プロジェクト宛
または、右記の問い合わせ先へご連絡ください。

◇発行：NPO法人リトルターン・プロジェクト
◇編集　増田　直也
◇表紙写真・　早川　雅晴
☆問い合わせ先
NPO 法人リトルターン・プロジェクト
Tel　:090-1778-5917
E-mail：info@littletern.net
Website-URL http://www.littletern.net/
ブログ更新中 http://d.hatena.ne.jp/littletern/